

第 2 回市民ワークショップ実施結果

1 結果概要

(1) 開催日時：4 月 6 日（日）9:30～12:30

場所：小金井市役所本庁舎 3 階 第一会議室

(2) 参加者：16 人（傍聴者：正副委員長＋委員 1 名）

属性	公立保育園保護者	民間保育園保護者	一般市民
人数	8 人	4 人	4 人

(3) グループ編成：4 グループ

公立保育園保護者（2 人）＋民間保育園保護者（1 人）＋一般市民（1 人）の参加者 4 人＋ファシリテーター 1 人の計 5 人で 1 グループを形成

(4) グループ対話のテーマ：

市民ワークショップでは、以下のようなテーマでグループ対話を進めました。

対話 1 約 45 分	▶ 答申骨子案の「3. 役割を実現するための課題」「4. 市立保育園の在り方～課題への対応策」を中心に「良い点」「改善点」について意見を出していただきました。 「良い点」：納得・共感できる点など 「改善点」：違和感・分かりづらい点など
対話 2 約 50 分	▶ 対話 1 での「良い点」「改善点」の意見を参考に、答申骨子案の「3. 役割を実現するための課題」「4. 市立保育園の在り方～課題への対応策」を中心に「重要だと思うポイント」について意見を出していただきました。 「重要だと思うポイント」：検討委員会で議論し、深めてほしい大切だと思う事項・内容。

(5) ワークショップで出された答申骨子案への意見数：合計 194

答申骨子案構成	意見数		対話 2 重要なポイント
	対話 1 良い点	対話 1 改善点	
はじめに	1	2	0
1 小金井市における保育等の現状	2	7	0
2 市立保育園に求められる 4 つの役割	2	0	2
3 市立保育園の役割を実現するための課題	28	15	20
3 章全体	2	0	0
(1) 市立保育園の適正な配置	18	3	11
(2) 保育士の人員不足	5	10	6
(3) 園舎の老朽化	3	2	3
4 市立保育園の在り方～課題への対応策	22	32	43
(1) 諮問された 5 つの課題への対応策	13	18	24
(2) 市立保育園の役割の速やかな実現のために＜まとめ＞	2	9	16
(3) このほか、今回検討した小金井市の保育の現状から求められること	7	5	3
骨子案全体に関する意見	0	3	2
その他の意見	1	4	8
合計	56	63	75

(6) 留意事項：

- ①参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載された通りに文字起こししています。
- ②付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

2 ワークショップでの意見の分類

対話1：答申骨子案の「良い点」、「改善点」

【良い点】

はじめに

節	項	付箋の意見
-	-	▽はじめに、で、きちんと経緯について書かれておりよいと思った

1 小金井市における保育等の現状

節	項	付箋の意見
(1) 小金井市における保育等の状況	①待機児童対策	▽園庭保有りつ 5園あることで園庭開放も可能になるのではないかと。5園ないと共有が成り立たない
(3) 小金井市の保育・地域子育て支援を取り巻く問題	②保育の量の拡充から質の拡充へ	▽量の拡充から質の拡充を目指すとしてありよかった

2 市立保育園に求められる4つの役割

節	項	付箋の意見
(3) 市立保育園に求められる4つの役割	④緊急時に地域の子どもと保育を守る役割（そなえる）	▽公立保育園は緊急時に絶対必要！
	市立保育園の役割の位置付け	▽「保けん・医療・子育て分野が連携する」 子育ては様々な分野で情報共有しないと、孤立する家庭をうむから→施設の複合化

3 市立保育園の役割を実現するための課題

節	項	付箋の意見
全体	-	▽課題3 網羅的にカバーできている ▽良い点 ・子ども、子育て関連の法律成立に基づいて将来を見すえた提案をしている。
(1) 市立保育園の適正な配置	①保育ニーズ充足の見通し	▽保育ニーズ充足後どうすべきか考えようとしているのは良い
	②市内を適正な規模のブロックに分け、各ブロックに市立保育園が配置されること	▽良い点 地域を意識した視点を持って、市立保育園の役割を考察している点
		▽ブロック内での連携、役割をしっかりと果たせる（地域に分けて考えている点）
		▽各ブロックに市立保育園が配置されることが望まれる
		▽適正な配置 市内を適正な規模のブロックに分け、各ブロックに市立保育園が配置されるのは、合理的だと思う
		▽「適正な規模ブロック」と書かれているのがよいと思った
		▽市内を適正な規模のブロックに市立保育園を分け配置する地域の連携を考えるのであれば各ブロックにある方がよい

①参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載された通りに文字起こししています。
 ②付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

節	項	付箋の意見
(1) 市立保育園の適正な配置	②市内を適正な規模のブロックに分け、各ブロックに市立保育園が配置されること	▽現行の5園体制 地理的に市内をカバーできる点が大切だと思った
		▽ブロック毎の適正配置 地域の連携を真に進めるには、顔の見える関係作りが必要
		▽役割が明確に（責任も？）
		▽良い点 市立保育園の配置イメージ図など、あり検委員が積極的に資料を作っていること
	③地域の子育て支援体制の強化	▽多様な保育ニーズの対応 ひとりで悩んでいる親の支援
		▽「どの子も一人にしない」 いろいろなニーズのある子が増えており、インクルーシブな取り組みは今後必須になるから 現状は民が任えていないため公立が任っている
		▽配慮を要する子ども、家庭への寄り添い 民間での対応がむずかしいことがある
		▽緊急対応受け入れ→1時預かりニーズの充足に言及している点 →公立保育園として市全体の子育て支援の柱としての役割があると考えするため
		▽年度途中入園枠の確保 子どもは生まれ月を選べない。いつでも受け入れ体制を確保されていることは望ましい
		▽児童館との連携 学童も定員オーバーしているので連携できると良いと思った
		▽小学生の居場所 学童がとても密なので居場所が増えるとよい
(2) 保育士の人員不足	-	▽保育士の人員不足 「欠員解消とともに新たな役割を担う人員確保拡充が必要」に共感する
		▽人材確保に努力すべし！
		▽新たな役割を担う人員確保・拡充が必要。
		▽保育士不足は市営だけでなく民間でも課題。必ず入れるべき内容
		▽保育士のキャリアを生かす取り組みを！ 退職した人たちを活用すべき
(3) 園舎の老朽化	-	▽園舎の老朽化 「子どもの安全確保」「地域の拠点」としても対応が必要と感じる
		▽園舎の老朽化の課題 医ケア児避難所として活用を考えられている（複合形になる？）
		▽老朽化 公のものに明記されると流れもかわるか？実施につながる？

4 市立保育園の在り方～課題への対応策

節	項	付箋の意見
(1) 諮問された5つの課題への対応策	①園舎老朽化への対応	▽園舎老朽化への対応 安全安心につながる。人気
		▽老朽化対策を早急に。全くその通り
		▽園舎老朽化への対応→複合化により人員も兼務できるとよい
		▽複合化 とてもよい 今後に残る 財政的にも？他市でも実施 長期計画で？

①参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載された通りに文字起こししています。
②付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

節	項	付箋の意見
(1) 諮問された 5 つの課題への対応策	①園舎老朽化への対応	▽老朽化問題 子ども・若者施策に関する複合施設化は、保育園だけに限らずたくさんの人がその施設を使えるので良いと思う
	②保育定員の適正化	▽保育定員の適正化 児童数の減少も考え公民ともに調整は必要
	③保育サービス拡充に向けた予算と人員の確保	▽対応 保育士確保（市としての対策に前向きなのが良い）
	④公立保育園の公費負担	▽予算の確保（子どもの利益を第一に検討）
		▽公立に対する公費負担のあり方を考えているのは良い
		▽保育料の適正化 財源になる点が良いと思った
	④公立保育園の公費負担、⑤自治体経営の観点	▽「子供の利益を第一に」と書かれており、安心した
▽都の無償化～財源確保への積極的な動き		
(2) 市立保育園の役割の速やかな実現のためにくまとめ>	●公民連携の仕組み（ネットワークづくり）	▽公民信頼 ・とても大切 ・連携しやすくなる
		▽「公民連携の仕組みづくりを進める」としていること。→公民というタテ割ではない保育の質の向上に資すると考えるため
(3) このほか、今回検討した小金井市の保育の現状から求められること	●障害児保育の実施支援のために巡回相談制度を民間園にも行き渡るよう拡充すること	▽障害児巡回 公立と私立の格差がへらせる
		▽派遣 公が民間支援できかきねが少しへるか
		▽巡回相談制度 公・民に行きわたるよう拡充することはとてもよい
		▽民間へも巡回相談するのが良い
	●地域の教育機関との連携構築	▽地域教育機関との連携が良い
		▽教育機関 連携少なかったの で 市が構築がよい
	●さくら保育園在園児への必要な配慮	▽さくら保育園在園児に配慮を行うとしている点→現状の 1 名のみの受け入れ体制は早急に改善されるべきと考えるため

その他

節	項	付箋の意見
その他	-	▽補助制度の拡充 保育料を払うために働くような状況が改善されたから。 給食費の無償化も同様

①参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載された通りに文字起こししています。
②付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

【改善点】

はじめに

節	項	付箋の意見
-	-	▽改善点(不十分な点) そもそも骨子案のはじめに専決処分と判決の説明が不十分(1)
-	-	▽市長諮問にある東京地裁判決のとらえ方と、状況説明が極めて不適切と言わざるを得ない(2)

1 小金井市における保育等の現状

節	項	付箋の意見
(1) 小金井市における保育等の状況	①待機児童対策	▽待機児童減少 入りたい園に入れているわけではない ▽年度途中でも入れる枠はきちんと確保してほしい 民間に枠カクホを要求したら赤字になってしまう…公立でやるべき!! ▽待機児童減少はじっかんとしてないです 入園の為の保活は必ず必要…
	②保育の機能拡充	▽アレルギー、障害児対応など民間では受け入れが難しいのが現実 公立のノウハウを民間に伝えるシステム作りなどをまずやってから廃園にしないと、子どもの行き場がなくなる
(2) 小金井市全体の保育・子育て支援の質向上に向けて	②不適切保育・不正の防止	▽「本市における指導検査の状況など」 指導検査は実施されているの？それがどのように改善に結びついているの？→市民としてはよくわかりません
	③地域の在宅子育て家庭への支援の現状	▽「切れ目ない支援」のために、保育だけではなく、「子育て環境を地域で支える施設」を作れるとよい(保育園、学童、老人デイサービスなど)
(3) 小金井市の保育・地域子育て支援を取り巻く問題	④市立保育園が直面する問題	▽保育人材の不足 廃園案があるから保育士が集まらないのは市も認めている→裁判の判決に沿った対応をすればいい

3 市立保育園の役割を実現するための課題

節	項	付箋の意見
(1) 市立保育園の適正な配置	②市内を適正な規模のブロックに分け、各ブロックに市立保育園が配置されること	▽保育の質とは？ わかりにくい
	③地域の子育て支援体制の強化	▽運営体制をおぎなうため、各施設との連携は必要 ▽もっと保母者によりそうべき 保育時間、相談
(2) 保育士の人員不足	-	▽人員不足 確保の為の具体的なイメージがわきにくい
		▽保育士の人員不足について→具体的な解決策が見えない。数年前から任期付での採用が進められ、満期を迎えれば一気に減ってしまう
		▽人員不足負担が多い、退職者が増える等の問題を分かっているがなぜ具体的な対策が出てこないのか 改善してほしい
		▽人員不足 募集してもこない どう確保？

①参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載された通りに文字起こししています。
②付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

節	項	付箋の意見
(2) 保育士の人員不足	-	▽保育士の人員不足 そもそも正規職員の退職者分を任期付で補うことを始め、更に、廃園問題で揺れている市に、わざわざ応募したがる人はいないだろう、という認識が、欠けている ▽新たな役割の人員 具体的な職を書いた方が良いと思う ▽2で示された「役割」を実現するためには、保育士はもちろん、専門の人員が必要になる ▽↑それは必ずしも「保育士」ではなく、でも保育に対する高い知識とけいけんがある方がよい。OBの方とか？ ▽地域子育て支援体制→保育士の業務範囲なのか…？（+αの資格が必要になる？） ▽民間の保育士のサポートが必要
(3) 園舎の老朽化	-	▽課題 「園舎老朽化」の課題としてのとらえ方に違和感 → 安全確保に懸念があるのであれば、「早急に対策」ではなくて今すぐ対応では？ ▽老朽化 市の計画では長寿命化対策に入っているのに、実施されないできていることが問題

4 市立保育園の在り方～課題への対応策

節	項	付箋の意見
(1) 諮問された5つの課題への対応策	①園舎老朽化への対応	▽園舎の老朽化 何故計画的にやらない！ 災害時の対応
		▽施設数減による調整はなぜ必要？ 保育園ではなく児童館なら良い？
	②保育定員の適正化	▽保育定員変更 今後の流入人口や、こども誰でも通園制度などの不確定要素も含えて、つど対応ができるのか？（年度でなく期中でも）
		▽保育定員の適正化 現状では“私立の経営を補障する為に公立の募集を行なわない”スタンスで、これは考え方としておかしいと思う
	③保育サービス拡充に向けた予算と人員の確保	▽予算・人員確保 社会的に給与水準が上がる中、どこから予算を確保するのか、どこまで上げるのかが不明確
		▽子育てに財げんを使うというビジョンをもたないと… 財げん問題 保育士のカクホ かいけつできない
		▽年度途中の待機児童発生を対応することを視野に入れる
		▽補助金 都の補助金を活用するのは良いが、都だけに頼る仕組みは不安定なのでは？→市としてどこに予算つかうのか
		▽「こども誰でも通園」の補助金は、必要な人件費にも満たないことが、学者からも指摘されている。
		▽人材不足対応として統合という選択肢が検討されていない
	④公立保育園の公費負担、⑤自治体経営の観点	▽同じく、自治体経営の観点として、5園維持が困難とある前提で、公立園の役割と在り方を問われても、市民としては困まる
		▽自治体経営において財政問題が克服できず…とあるのは市民として、困惑のきわみ
(1) 諮問された5	④公立保育園の公費負担	▽5園維持の困難→維持できるよう努力してきたのか…？（財

節	項	付箋の意見
つの課題への対応策	担、⑤自治体経営の観点	政問題の克服)
		▽財政問題って何？ 駅の北側の開発は必要なのに、保育や子供は開発しない？
		▽一園あたり税をいくら投入しているのか公開されていない
		▽公立をへらすと民間をどれだけ増やせるのかが説明されていない
		▽公立をへらして生まれる予算が子供のために使われるのかが説明されていない
		▽園を残すかどうかの議論と、公立であるべきかどうかの議論が分けられていない
(2) 市立保育園の役割の速やかな実現のためにくまとめ>	● 公民連携の仕組み（ネットワークづくり）	▽保育の質の向上 民間保育士とともに研修の機会を
		▽公民連携の仕組みづくりを進める(課題)
		▽横の連携だけでなくたての連携についてくわえてほしい
		▽行政との連携において「兼務」の検討がされていない。・子供家庭センター ・市役所とも兼務
	● 市立保育園の配置および定員についての複数案	▽市立保育園の配置・定員複数案 →5園→2園以外に現状どのような案が出ているのか知りたい(具体的に)
		▽市立保育園の定員についての複数案(定員と実際入園が異なる)?? (段階的廃園が進んでいるにも関わらず募集人数は変わらない)
		▽対応策 財源の話ができない中で、複数案提示は難しいのでは? →減らす場合 今果たしている/果たそうとしている役割が増えるしかない
		▽対応策 もっと5園前提を強く出してもいいのでは?
		▽5園… ブロックが途中でかわる?
(3) このほか、今回検討した小金井市の保育の現状から求められること	● 障害児保育の実施支援のために巡回相談制度を民間園にも行き渡るよう拡充すること	▽障害児保育の実施について →民間園に拡充は必要なことであり、これまで格差があった原因はどのように解消されるのか知りたい
	● 地域の教育機関との連携構築	▽教育機関との連携 ・どんな、どこ? ・大学レベル? 小中学校と?
		▽教育機関の連携い 公民の意思を聞くことは良いがそれを市だけで構築ではなく市と民間、市民での構築にしてほしい。信らん度
	● DXの積極的な活用による市立保育園における事務負担の軽減	▽ “DXを積極的に活用して、民間との連携を進め” とはどのようなことか? 市立保育園の事務負担軽減は、わかるが
		▽DX活用は国としても作っている時代の流れではあるが、カリキュラムの作成まで DXにさせるようなことは好ましくない

答申案全体・その他

節	項	付箋の意見
答申骨子案全体	-	▽わくわくしない、こわい 再度保育士としても… 4(3)や全体的にやってみたいと思えない
小金井市らしさ	-	▽小金井市らしさは…? 他市でもあるような感じ 学大、

①参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載された通りに文字起こししています。
 ②付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

節	項	付箋の意見
		自転車であまれるコンパクト感 いかせないのか ▽小金井市らしさは…？ 他市と同じなら他市が方針決めるとそこに流れていかないか？
小金井市の保育のビジョンの明確化	-	▽ビジョン ここを大きくうち出して欲しい ▽課題と解決だけ？ 3、4 だけなのか、こんな未来にしたい、とかでなく問題点と対応のみで夢がないと感じた
その他	-	▽公立保育園でなく行政の果たす役割が明示されていない ▽園庭の不足に関して、小金井中に公園を作るなど園の中以外の対応が検討されていない

①参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載された通りに文字起こししています。
 ②付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

対話 2：答申骨子案で「重要だと思うポイント」

2 市立保育園に求められる 4 つの役割

節	項	付箋の意見
(1) 公立保育園の特性	①経験を積んだ人材を保有していること	▽経験をつんだ人材 民間は雇用が安定していない。公立で人材をカクホ
(3) 市立保育園に求められる 4 つの役割	③公立保育園の機能を活かして在宅子育て家庭を支援する役割 (手を伸ばす)	▽役割 3 の＜手を伸ばす＞ための伸ばす先に各家庭だけではない、市内の市民活動を意識する

3 市立保育園の役割を実現するための課題

節	項	付箋の意見
(1) 市立保育園の適正な配置	②市内を適正な規模のブロックに分け、各ブロックに市立保育園が配置されること	▽各ブロックに市立保育園 駅周辺だけが小金井市ではない！市全体を考えて配置が必要
		▽現 5 園が行政機関として各ブロックに配置 市内全体をカバーする事が重要
		▽ブロック化に対して、3 園、2 園と数が減ることに対して、そのまわりの連けいできる施設、複合施設をどこにあれば良いか、それが本当に可能なのか具体的策がほしい
		▽「適正な規模のブロック」については、地理上だけでなく、人数、横のつながり方、たてのつながり方など 多面的な見方をした上で、「適正」を示してほしい。
		▽ブロック化 5 ブロック→3 ブロックか 5 園で 3 ブロック→3 園(ブロックの変更なし) 将来を見すえたブロック割
		▽こまかい計画を!! 府中市の統廃合のようなこまかい計画をたててほしい
	③地域の子育て支援体制の強化	▽子ども家庭センターとの連携は絶対必要 一番大事!
		▽子ども一番と考えるなら、支援体制の強化、緊急対策に関しては、一番重要でもっと具体的に議論して頂きたいところ
		▽地域の子育て体制の連携 子育ては保育園の時だけでなく、乳幼児・小学生(学童)まで切れ目のない同質な助けが必要なので重要
		▽何と言っても市立保育園の適正な配置・地域の子ども関連施設の連携(保幼小含む)は、ずっと以前から必要性が叫ばれていたが、小金井ではほとんど具体化されていない。地域のネットワークを作る場合、その中核・事務局的作用を担えるのは児童館・学校を含め公の機関でしかあり得ないのだから、この場合、市立保育園をどのように配置するかは肝であり、それは諮問 3 にもある訳なので、はずしてはいけない
(2) 保育士の人員不足	-	▽地域子育て支援体制の強化 今後の小中高生の居場所としての役割
		▽公立として期待される 4 つの機能実現のためには…人が必要!!→働きたいと思える市に!!→民間園にも求人が増えていく
		▽人員不足問題 スキルの継承のためには…・保育士に長く勤めてもらうことができるようにする ・勤務年数が長い公立園を有効活用していく

①参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載された通りに文字起こししています。
②付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

節	項	付箋の意見
(2) 保育士の人員不足	-	▽保育人員不足の重要性 何よりも人員確保できなければ、あずける人数も制限されてしまうので、どう確保していくのか重要!! ▽人員 ・面白さ（小金井の保育の） ・みりょく ・夢 入れてほしい ▽保育士人員不足の解消の具体策を示すこと（任期付を正規化する等） 廃園・定員減は消極的解決法と考えます ▽役割実現のためには、「保育士」の中でも可能かを確認しつつ、他の人材・役割の人をふやした新体制をつくる必要がある ・医ケア児対応のプロ ・ハブ役の人 ・OBの方など…?
(3) 園舎の老朽化	-	▽園舎の老朽化 市として、子育て政策にお金をかけていけば、この問題はクリアできる!!（〈4(1)⑤〉とも関連） ▽園舎の老朽化 やはり考えてしまうのは、地震が起こってしまった時のリスク。いつ、どこで発生するか分からないので。なんとか早く対策してほしい ▽園舎の老朽化への早期対応→複合施設化も検討し安全に通園できる環境を確保してほしい

4 市立保育園の在り方～課題への対応策

節	項	付箋の意見
(1) 諮問された5つの課題への対応策	①園舎老朽化への対応	▽園舎老朽化への対応 在り方検討委員会の提言を待つことなく、早急な予算化と対応をすべき
		▽園舎老朽化への対応 対策はすべきだが、そもそも老朽化リスクは考えて計画をすべき。予算確保により施設減だと、他の役割を任えないので、要検討し明記しない方がよい
		▽老朽化が数を減らす原因となるならば… いずれどの園も老朽化します。
		▽園舎老朽化 複合施設案も良いが、公立園希望者のためにも早急に対応してほしい
		▽連携・複合化することで、利用者が混乱することのないように、役割分担の明確化も重要だと思う
		▽複合化について 財源 概算でも大まかな予算がわかると（施設数減によるものも含め）納得できるものになりそう
	②保育定員の適正化	▽年度途中の待機児童の受入れ 公立でないと対応できない部分（とくに年度後半の受け入れは、枠が少ない）
	③保育サービス拡充に向けた予算と人員の確保	▽予算と人員確保 今より充実させるにはいずれも重要だが、市政の中での優先順位、具体的な財源確保の（都頼り×市としての）根拠や人員確保の手法が不明確
		▽保育士採用の改善 小金井独自の保育をみりょく的なものにする
		▽小金井市で保育士をしたいと思えるように
		▽保育についての人材 ・一般・特別保育 ・市民協力の人 以外にも市民によびかける必要があるのかと思いました
		▽保育士の確保 “巡回支援指導”をやりたい保育士はいるのか…?
(1) 諮問された	③保育サービス拡充に	▽教育や研究が好きな人たちを学芸大学に集め、その人達に巡

節	項	付箋の意見
5つの課題への対応策	向けた予算と人員の確保	回してもらう方法の検討も大事(寄付講座)
		▽子ども誰でも通園制度そのものが問題ありすぎです(非現実的=人材 環境)
		▽↓財源確保のためだけに実行はリスク ・人員確保(既存児対応でもたりない) ・環境設備 結課 現場が疲へいして退職となると悪巡回
	④公立保育園の公費負担 ⑤自治体経営の観点	▽財源分配のあり方を明確に
		▽「5つの課題」は行政の都合であり、本来は大人が大人の中で解決しなければならない。それでも子どもの安心に、安全に、健やかに育つことのできる環境をなくす判断をせざるを得ないのであれば、「子供の利益を第一に」検討してほしい
		▽お金を子達に使うことを明言!!
		▽公立一園当たりの支出額と、それを別の方法で子供に用いた時にできる事の情報公開が大事
		▽公費負担の根拠が明確であることが必要なので何にいくらかかるのかの検討が大事
		▽財政問題について 5W1H をもとにどのようにして予算を分けているのかを出して頂くとわかりやすいと思った
		▽保育料の適正化 予算確保するためにどうすべきなのか
		▽答申に示そうとしている市立園の役割の実現のため財政問題を引きあいに出さないような方向性を
		▽民間への補助金への条件を明確にして、目的達成のための補助をするのが大事
(2) 市立保育園の役割の速やかな実現のためにくまとめ	●公民連携の仕組み(ネットワークづくり)	▽公民連携の仕組みづくり 子どものことを市立・私立関わらず皆で連携できれば良いと感じる。
		▽民間保育園との連携 上下関係ではなく、助け合い高めあえる関係作りをしていく
		▽これまでできなかった連携(行政・公・民)をどのように実現できるのか?それが見えない状況では不安
		▽行政・市立・民間の連携のあり方をどう構築するのか?それにより市全体の保育の質のあり方が決まる(民間園は利用者アンケートも未実施?)
		▽行政・市立保育園・民間保育園の信頼関係構築 民間保育園代表委員が検討委員会を辞任したが、その根っこには行政への信頼感の欠如があると思われる。私立と公立が共に市の保育の質の向上を目指し、全ての子ども達の幸せを目指す為には、これまでの行政のスタンスに問題があったことを見つめ直さなければならないと思う。
		▽全ての子供が大事なので、民間の水準向上の政策が大事
		▽（ニーズ） 役割の整理の上で ゆりかごから墓場までのまとめ役が必要。携帯するにはつながりが大切なので
		▽行政の権限と役割について書いてほしい。☆民間との連携の実現化

節	項	付箋の意見
(2) 市立保育園	●園数や定員の調整も	▽5 園体制⇒地理的に身近 もともと、地理的なことを考慮し

節	項	付箋の意見
の役割の速やかな実現のためにくまとめ >	視野に入れた、人員不足や園舎老朽化の早急な解決	て配置されてきた5園のハズ…なくすことで、公立園が任っているサービスを受けられない地域がでる!!↓
		▽5園を今のまま維持するのではなく、規模を縮小し、複数のサービスを受けられる施設として生まれかわらせる
		▽市立保育園5園は地域的にも絶対必要
		▽園数を減らしたら…？ 特別なニーズの対応や質の向上はムリです!! 園数は5園にしておかないと、質は低下します
		▽5園前提でのブロック割り方についての議論 →インフラとしての役割を考えると、減らすのは疑問
		▽公立保育の定員減で空いたスペースを活用して地域連携などの場として活用したら 複合化も視野に
	●市立保育園の配置および定員についての複数案	▽そもそも、この委員会が設置されたのは、段階的縮小→廃園について行政が一方的に決めるのではなく、市民の意見を聞くため、ということでした。それにもかかわらず、公立の園数についての議論がされないのはおかしい
(3)このほか、今回検討した小金井市の保育の現状から求められること	●さくら保育園在園児への必要な配慮	▽そこに園がある事の必要性和、どれが公立である事の必要性を分けた検討が大事
		▽さくら保育園在園児の重要性(軽視されすぎ) 今現に縮小のためにぎせになってい子に対して考りよしてほしい。その1人の子に対して明るい未来を考えてほしい
		▽裁判の判決に適した対応をしてほしい (廃園条例のてっ回)(さくら保育園在園児への対応)
		▽さくら保育園で1学年1人になっていること

その他

節	項	付箋の意見
小金井市らしさ	-	▽小金井らしさ 前向きな視点 地域資源の活用
		▽小金井らしさを コンパクトな市ならではの、学大がある、自然が多い、など、小金井の案とわかるよう特色差別化をしてほしい
小金井市の保育のビジョンの明確化	-	▽自治体経営の観点 市として子育て政策をどうしたいのか? もっとハッキリとビジョンを示して!! 現状のビジョンはわかりにくい…
		▽保育の質(目標) どんなことがやりたいのかを前面に押し出し そのために、この役割があるというようにしてほしい
		▽どんな保育園にしたいのか 課題解決も必要だが全市でこんな公立園(子ども第一とか 子どもがすこやかに 孤立させないなど) があるとよい
		▽小金井市で子どもを育てたいと思えるように “ビジョン” “お金がないから” でない
その他	-	▽信頼関係 行政のできることを、考え方などもっと教えてもらい、こちらの要望とすり合わせてほしい
		▽民・市・国での役割の整理が必要 国と市が重複しているなら国にやってもらう等
その他	-	▽現時点ですでに2園において子どもを受け入れていない事がおかしい! 廃園が前提?? あり得ない

①参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載された通りに文字起こししています。
②付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

節	項	付箋の意見
		▽やったあとの評価 だれがどう評価？

小金井市立保育園の役割と在り方について（答申）骨子案

市民WS
配布用

はじめに

- 本委員会設置の経緯と目的
専決処分と判決、設置条例の上程と議決、設置目的（第1条）
市全体の保育の質の維持向上に向けた小金井市が果たす役割等の明確化
- 諮問内容（R6.6/20 諮問）
市立保育園に期待される役割、役割実現に向けた課題、市立保育園の在り方
- 本委員会の経過
第1回 R6.6/20～第10回 R7.5/xx。アンケート、ワークショップ、インタビュー

1 小金井市における保育等の現状 ＊データを示しながらよいことも悪いことも触れる

（1）小金井市における保育の取組

- ①待機児童対策
民間保育園整備による早期の待機児童減少（入園決定率）、園庭保有率の低下など
- ②保育の機能拡充
長時間保育、一時保育、アレルギー対応、障害児保育、こども家庭センターとの連携（公立園・民間園の取組）
- ③保育体制の確立
市立園配置基準、補助制度の拡充、キャリア形成支援、都と合同の指導検査実施など
- ④保育ビジョンの策定
目指すもの・大切にしたいもの、ガイドライン作成、合同研修の実施など

（2）小金井市全体の保育・子育て支援の質向上に向けて

- ①保育ビジョンで挙げられている課題
 - 待機児童の状況
 - 保育の質の維持・向上（保育の質について、保育士の確保、市内保育施設等との連携・幼保小連携）
 - 多様な保育ニーズへの対応（特別な配慮が必要な子どもの支援、アレルギーのある子どもの保育、要保護児童・要支援家庭の支援、休日保育や一時預かり等、病児保育、病後児保育）
- ②不適切保育・不正の防止
 - 様々な不適切事案（不適切保育、報告水増し、大量退職、補助金不正）
 - 本市における指導検査の状況など
- ③地域の在宅子育て家庭への支援の現状
母子保健と連携した切れ目のない支援、子育て支援センター・子育てひろばの展開（現状について解説）

(3) 小金井市の保育・地域子育て支援を取り巻く問題

①年少人口及び保育園の必要利用定員の見込み

全国的な少子化傾向、新「のびゆくこどもプラン」の推計値。児童数は減少へ（特に0・3～5歳児）

②保育の量の拡充から質の拡充へ

国の配置基準改定など質向上の動き、小金井市の保育の質の維持・向上策

③すべての子どもの権利保障、地域の子育て支援の拡充

- 国の子ども施策の前進（こども基本法、こども家庭庁の設立、「こどもまんなか」へ）、小金井市の子どもの権利条例の制定
- 国の在宅子育て支援・保育の拡充策（一時保育・こども誰でも通園制度、こども家庭センターの新設等虐待防止と切れ目のない支援、医ケア支援・障害児支援などインクルージョン施策）と、これらについて小金井市の現状（障害児保育の状況も述べる）

④市立保育園が直面する問題（保育人材の不足、保育士の雇用の不安定化、園舎の老朽化、IT化に必要な設備の不足（国政策も説明）、施設連携の強化、更なる財源確保の困難など）

⑤地域の公民連携の不足

保育・地域子育て支援の拡充のためには、地域ごとに市立保育園・民間保育園が連携していくことが求められている。市では、個別の合同研修の他、保育の質ガイドライン研修、ほけん根っとうワーク、おいしい給食研究会を実施しているが、十分ではなく、公民ともに職員も繁忙のため、参加しにくい状況にある。

2 市立保育園に求められる4つの役割

(1) 公立保育園の特性

第1回市民ワークショップ資料の5つの内容

- ①経験を積んだ人材を保有していること。人材の確保や定着がしやすい雇用の安定性を有していること。
- ②市の組織力を活かし、地域の緊急事態にも対応できること。
- ③市の直営施設として、行政部門と直結しながらの横断的連携が可能であること。
- ④機能を恒常的に維持できること
- ⑤さまざまな子ども施策に関して、子どもの権利を保障する行政の責任を直接的に担い、実現することができること。

(2) 公民の関係についての議論の整理

第1回市民ワークショップ資料の4点の内容

- | |
|--|
| ・認可保育園（保育所）は児童福祉施設であるため、民間事業者であっても児童福祉の理念に基づいた事業を実施する責務があることはおさえておかなければならない。（児童福祉に反する事業内容となっている場合には、市が指導する責任がある。） |
| ・基本的に障害児保育は、民間保育園でも行うべき責任がある。ただし、職員体制や設備の関係で制約がある場合もある。公立は民間で受け入れられないケースを率先して受け入れ、またその専門性・経験の蓄積を活かして、民間保育園がより広く障害児を受け入れられるように援助する役割が求められると考える。 |
| ・一時保育を要する要保護児童についてはすべての発見者は速やかに通報する義務がある。懸念があるが確かではない場合や一時保護には至らない場合（要支援家庭・児童）には、公民の保育施設はともに関係機関と連携しながら予防的支援を行うことが求められる。また、一時保護を解除されるなどとして家族再統合となり見守りが必要なため、公民の保育施設に児童相談所から要請がある場合もある。仮に、民間で対応が難しいケースがあった場合には、公立が率先して受け入れ、子どもの最善の利益を考慮した対応を行うことが求められる。 |
| ・「保育の質」は多面的であり、一元的な基準で論じることは難しい。公立は、直営施設という機関としての特色を持ち、職員の経験年数が長く、均質な保育を持続的に提供できるという特性があると言える。一方、民間施設はそれぞれに創意工夫をもって運営されており、そのあり方は多様である。 |

(3) 市立保育園に求められる4つの役割

- ①地域の連携、保育の質の維持・向上を推し進める役割（学ぶ・つなげる）
- ②難度の高い保育を率先して担う役割（取り組む）
- ③公立保育園の機能を活かして在宅子育て家庭を支援する役割（手を伸ばす）
- ④緊急時に地域の子どもと保育を守る役割（そなえる）

【市立保育園の役割の位置付け】

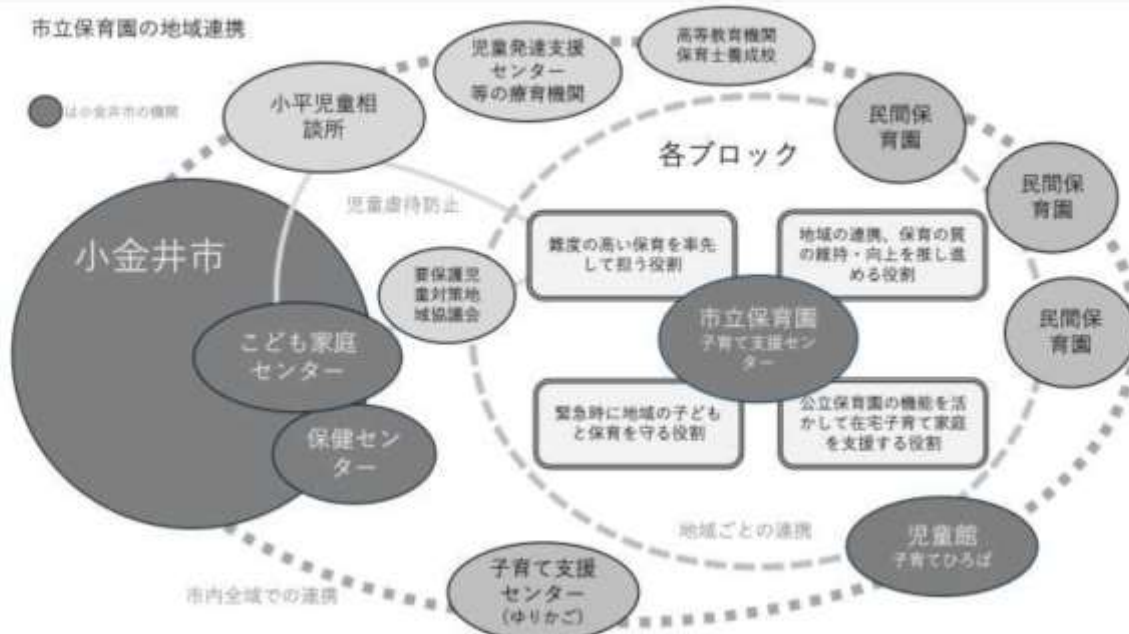
小金井市は、どの子ども、そしてどの親も一人にせず、安心して子育てが出来る環境の構築を目指している。近年増加する、多様なニーズを持つ子ども、家庭を含めた、インクルーシブな社会を実現するためには、保健、医療、福祉、教育、子育て等の関連分野が有機的に連携することが重要となる。その中核にはこども家庭センターが位置することになるが、保育所等はこども家庭センターと連携しながら、保育・子育て支援を通して、その一端を担う大きな役割をもつ。各公立保育所は行政機関としてその役割を主体的に担い、各地域の民間保育施設への協力・支援、連携の場づくりを行うことが求められる。

【市立保育園の役割】

No.	役割	公立として期待される機能
1	地域の連携、保育の質の維持・向上を推進する役割 【学ぶ・つなげる】	●地域の保育の質の維持・向上 ・保育所保育指針・小金井市保育の質のガイドラインに準拠した保育を自ら行い、小金井市の保育のひとつの実践モデルとして存在する。 ・地域の民間保育施設と連携・交流し、学び合いの場をつくったり、蓄えられた専門性・経験値を活かした支援を行う。 ・園庭開放などにより民間保育施設の支援を行う。 ・小金井市が巡回支援や指導検査を実施するための人材を育成する。
2	難度の高い保育を率先して担う役割 【取り組む】	●要配慮児、要支援家庭・児童の支援 ・配慮を要する子ども（障害児、医療的ケア児）、要支援家庭・児童（外国籍、生活課題をかかえる、養育困難、虐待懸念）に寄り添い、行政機関として難度の高い保育に自ら率先して取り組む。 ・こども家庭センター、療育機関、医療機関などと連携する。 ・これらの経験知や専門性を蓄積し、民間保育施設との事例共有や必要な支援の提供等により、小金井市の支援体制を強化する。
3	公立保育園の機能を活かして在宅子育て家庭を支援する役割 【手を伸ばす】	●在宅子育て家庭の支援 ・地域の在宅子育て家庭への支援を、保育の専門性・経験知を活かして行う。 ●子育て支援センターとしての機能 ・子育て相談（対面、電話、メールなど）、出前保育、母子保健事業に参加するアウトリーチの活動、一時保育（こども誰でも通園制度）などの実施を通して支援ニーズを発見する。 ・必要に応じて保育の実施による支援を行ったり、こども家庭センター等他機関と連携して支援をつなぐなど、幅広く臨機応変な支援を行う。 ●その他の家庭・地域への支援 ・必要に応じ高齢者との交流、小学生の居場所などのニーズにも応える。
4	緊急時に地域の子どもと保育を守る役割 【そなえる】	●地域の保育施設でのトラブル対応 ・地域の保育施設でトラブル等による保育の停止などがあった場合には子どもの受け皿になる。 ●災害時等の対応 ・小金井市の災害時対応の一端を担い、市の機関として横断的に連携しながら、子育て家庭、保育施設の支援を行う（例 避難所での出前保育、復旧が遅れている保育施設利用者のための臨時保育、民間施設への支援物資提供の拠点になるなど。）

<表に続けて4つの役割の補足説明も入れる>

【図】市立保育園の地域連携



3 市立保育園の役割を実現するための課題

(諮問事項1への答申としてまとめた前項の内容をふまえ、これらの機能拡充のために必要な体制の確保及び配置の論点など)

(1) 市立保育園の適正な配置

次の3つの観点から市立保育園の配置を検討する必要(資料63、64参照)。

- ①保育ニーズ充足の見通し<保育定員の調整、年度途中入園枠の確保も視野に>
- ②地域の連携、保育の質の維持・向上を推し進めるため、市内を適正な規模のブロックに分け、各ブロックに市立保育園が配置されることが望まれる。
- ③地域の子育て支援体制の強化<こども家庭センターとの連携による緊急対応を受け入れつつ一時預かりニーズも充足する必要、地域の在宅子育て家庭の孤立防止、隠れた支援ニーズの発見と早期対応のために地域子育て支援拠点が適正に配置されることが望まれる。保育の専門機関として地域子育て支援拠点事業を児童館と役割分担することを検討すること。児童館(一部学童保育併設)は学童保育定員増加、今後の学校・学童保育の連携役および小学校高学年・中学生の居場所として役割も担うことも視野に入れる>

(2) 保育士の人員不足

市立保育園の人員不足の現状を解説(今の保育の安全を確保するだけで精一杯の状態、負担の重さから退職者がさらに増える恐れ)。地域子育て支援体制の強化や、配慮が必要な子ども・家庭の支援などを行うためには、保育士等の欠員解消とともに新たな役割を担う人員確保・拡充が必要。

(3) 園舎の老朽化

子どもの安全確保、保育や子育て支援の効率的な実施のために建物の老朽化対策は急務(施設の古さが原因で怪我が起こる、お湯が出ないなど、非常に問題がある状況が報告されている)。医療ケア児の受け入れなど、医療器具を安全に利用できなければならない。また、地域の拠点、福祉避難所としてバリアフリー化も必要である。

4 市立保育園の在り方 ～課題への対応策

(諮問事項2の<5つの課題>について、4から要点を抽出して検討会の意見としてまとめる)

(1) 諮問された5つの課題への対応策

①園舎老朽化への対応<早急に対策を。子どもの安全、必要な予算確保に努める。国の改修補助(こども誰でも通園制度実施園)、子ども・若者施策に関する複合施設化(合築)による建替えなども視野に入れる(例示)。予算確保との関係では施設数減による調整も視野に>

②保育定員の適正化<児童数が今後も減少する場合には、公民ともに定員調整が必要。市立保育園は定員縮小により③の保育士を確保することも考えられる。ただし、年度途中の待機児童発生に市立園で対応することも視野に入れておきたい>

③保育サービス拡充に向けた予算と人員の確保<欠員補充に加えて4つの役割実現のための人員確保が必要。本答申で市立保育園の今後への見通しが確立することによる保育士採用の改善を期待。子育て支援センター併設により地域担当保育士の人件費補助を受ける、こども誰でも通園制度(国)もしくは多様な他者との関わりの機会創出事業(都)を実施して人件費補助を受ける、なども視野に入れる>

④公立保育園の公費負担

⑤自治体経営の観点(市立保育園5園維持の困難)

<④⑤…小金井市の子ども施策を効果的に実施するため、本答申に示した市立保育園の役割を実現のために予算を確保することが必要。それぞれの機能に必要な人員・人材を配置することが必要。公費投入の適正化のため、補助のあり方についても子どもの利益を第一に検討する。たとえば、保育料等の適正化(都の無償化が実施される場合には市独自の保育料軽減財源をこれらの施策に充てる)、民間保育施設への補助を保育士配置など保育の質と連動させるなど。これらを前提としつつ、財政問題が克服できず子どもの安全確保・保育の質確保に懸念がある場合には、園数での調整も視野に入れる>

(2) 市立保育園の役割の速やかな実現のために<まとめ>

●市全体の保育の質の維持・向上のためには、何より行政・市立保育園・民間保育園の信頼関係が不可欠である。民間保育園の自律性・多様性を尊重しつつ強みを活かし、関係機関とも連携していく公民連携の仕組み(ネットワーク)づくりを進める。([図]市立保育園の地域連携図)

●市立保育園の役割の実現に向けては、現行の5園体制であれば地理的にも身近であり、子ども・家庭に目が行き届きやすい利点があるが、人員確保・老朽化対策は深刻である。実現困難な場合は園数や定員の調整も視野に入れざるを得ない。人員不足や園舎老朽化の早急な解決が不可欠である。

●市立保育園の配置および定員についての複数案を示す

(3) このほか、今回検討した小金井市の保育の現状から求められること。

●障害児保育の実施を助けるために、市が専門人材を派遣する巡回相談制度（巡回支援指導とは別）を民間園にも行き渡るように拡充すること。

●地域の教育機関との連携を、公民の保育園の意見を聞きながら、市が構築する。

●D Xを積極的に活用して、民間保育園との連携を進め、市立保育園における事務負担軽減を図ること。

●さくら保育園在園児に必要な配慮を行うこと。

etc.

メモ

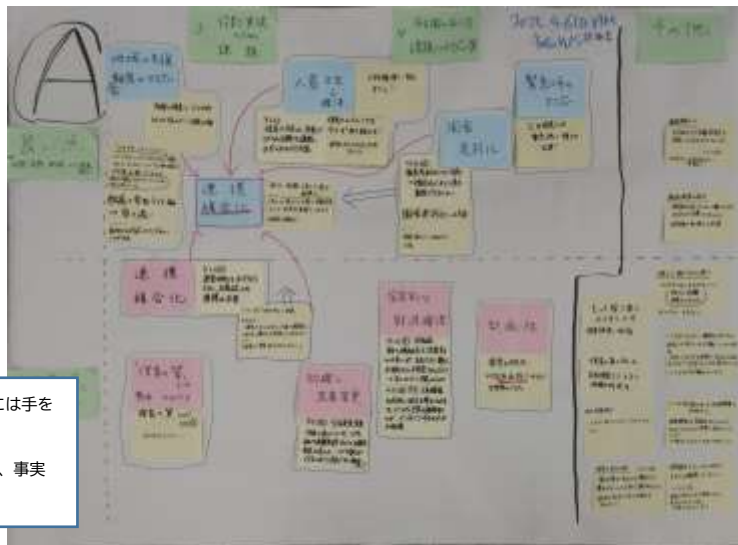
<委員提出のイメージ図から連携関係を除き、4つの役割の効果をイメージさせる図として掲げるか？>

<幹事園、基幹園、拠点園などの呼称を検討する>

<「市立保育園の役割の速やかな実現」に向けた進め方（ステップ）を記入するか？>
(参考)

3 模造紙のとりまとめ

Aグループ 対話1 『答申（骨子案）の「良い点」・「改善点」』



- ① 参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載されたとおりに文字おこしています。
- ② 付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

【良い点】

「3. 役割実現のための課題」

■地域の支援、高難度の対応

▽多様な保育ニーズの対応 ひとりで悩んでいる親の支援

▽「どの子ども一人にしない」 いろいろなニーズのある子が増えており、インクルーシブな取り組みは今後必須になるから 現状は民が任えていないため公立が任っている

▽配慮を要する子ども、家庭への寄り添い 民間での対応がむずかしいことがある

■人員不足→確保

▽人材確保に努力すべし！

▽保育士不足は市営だけでなく民間でも課題。必ず入れるべき内容

▽保育士のキャリアを生かす取り組みを！ 退職した人々を活用すべき

■連携複合化

▽「保けん・医療・子育て分野が連携する」 子育ては様々な分野で情報共有しないと、孤立する家庭をうむから→施設の複合化

「4. 市立園の在り方、課題への対応策」

■園舎老朽化

▽園舎老朽化への対応→複合化により人員も兼務できるとよい

▽園舎老朽化への対応 安全安心につながる。人気

■緊急時の対応

▽公立保育園は緊急時に絶対必要！

「その他」

▽園庭保有ありつ 5園あることで園庭開放も可能になるのではないかな。〈1(1)①〉5園ないと共有が成り立たない

▽補助制度の拡充 保育料を払うために働くような状況が改善されたから。給食費の無償化も同様

【改善点】

「3. 役割実現のための課題」

■連携複合化

▽〈3(1)③〉運営体制をおぎなうため、各施設との連携は必要

▽〈1(2)③〉「切れ目ない支援」のために、保育だけではなく、「子育て環境を地域で支える施設」を作れるとよい(保育園、学童、老人デイサービスなど)

■「保育の質」とは 意味・ひもづけ

▽保育の質とは？ 〈3(1)②〉 わかりにくい

「4. 市立園の在り方、課題への対応方策」

■的確な定員変更

▽〈4(1)②〉保育定員変更 今後の流入人口や、こども誰でも通園制度などの不確定要素も含えて、つど対応ができるのか？ (年度でなく期中でも)

■安定的な財源確保

▽〈4(1)③〉補助金 都の補助金を活用するのは良いが、都だけに頼る仕組みは不安定なのでは？→市としてどこに予算つかうのか

▽〈4(1)③〉予算・人員確保 社会的に給与水準が上がる中、どこから予算を確保するのか、どこまで上げるのか不明確

■計画性

▽園舎の老朽化 何故計画的にやらない！ 災害時の対応

「その他」

▽子育てに財けんを使うというビジョンをもたないと… 財けん問題 保育士のカクホ かいけつできない

▽もっと保ゴ者によりそうべき 保育時間、相談

▽保育の質の向上 民間保育士とともに研修の機会を

▽待キ児童減少 入りたい園に入れているわけではない

▽保育人材の不足 〈1(3)④〉 廃園案があるから保育士が集まらないのは市も認めている→裁判の判決に沿った対応をすればいい

▽〈1(1)②〉アレルギー、障害児対応など民間では受け入れが難しいのが現実 公立のノウハウを民間に伝えるシステム作りなどをまずやってから廃園にしないと、子どもの行き場がなくなる

▽〈1(2)②〉「本市における指導検査の状況など」 指導検査は実施されているの？それがどのように改善に結びついているの？→市民としてはよくわかりません

▽年度途中でも入れる枠はきちんと確保してほしい 〈1(1)①〉 民間に枠カクホを要求したら赤字になってしまう…公立でやるべき!!

① 参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載されたとおりに文字おこししています。

② 付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

「3 課題」・「4 対応策」共通

■連携複合化

▽〈3(1)③〉地域の子育て体制の連携 子育ては保育園の時だけでなく、乳幼児・小学生(学童)まで切れ目のない同質な助けが必要なので重要

▽子ども家庭センターとの連携は絶対必要 〈3(1)③〉一番大事!

▽連携・複合化することで、利用者が混乱することのないように、役割分担の明確化も重要だと思う

▽〈4(2)〉5 園体制⇒地理的に身近 もともと、地理的なことを考慮して配置されてきた 5 園のハズ…なくすことで、公立園が任っているサービスを受けられない地域がでる!! ↓

▽5 園を今のまま維持するのではなく、規模を縮小し、複数のサービスを受けられる施設として生まれかわらせる

▽市立保育園 5 園は地域的にも絶対必要 〈4(2)〉

■3(1) 入園枠の確保

▽年度途中の待機児童の受入れ 〈4(1)②〉 公立でないに対応できない部分 (とくに年度後半の受入れは、枠が少ない)

■人材確保

▽公立として期待される 4 つの機能実現のためには…人が必要!! 〈3(2)〉→働きたいと思える市に!!→民間園にも求人が増えていく

▽人員不足問題 〈3(2)〉スキルの継承のためには…

- ・保育士に長く勤めてもらうことができるようにする
- ・勤務年数が長い公立園を有効活用していく

■園舎老朽化

▽〈4(1)①〉園舎老朽化への対応 対策はすべきだが、そもそも老朽化リスクは考えて計画をすべき。予算確保により施設減だと、他の役割を任せないので、要検討し明記しない方がよい

▽〈3(3)〉園舎の老朽化 市として、子育て政策にお金をかけていけば、この問題はクリアできる!!(〈4(1)⑤〉とも関連)

▽財源分配のあり方を明確に

■予算と人材確保

▽〈4(1)③〉予算と人員確保 今より充実させるにはいずれも重要だが、市政の中での優先順位、具体的な財源確保の(都頼り×市としての)根拠や人員確保の手法が不明確

▽〈2(1)①〉経験をつんだ人材 民間は雇用が安定していない。公立で人材をカクホ

その他

■小金井らしさ(わかりやすいビジョンの元で)

▽小金井らしさ 前向きな視点 地域資源の活用

▽〈4(1)⑤〉自治体経営の観点 市として子育て政策をどうしたいのか? もっとハッキリとビジョンを示して!! 現状のビジョンはわかりにくい…

▽〈4(2)〉園数を減らしたら…? 特別なニーズの対応や質の向上はムリです!! 園数は 5 園にしておかないと、質は低下します

▽現時点ですでに 2 園において子どもを受け入れている事がおかしい! 廃園が前提?? あり得ない

▽子ども誰でも通園制度そのものが問題ありすぎです(非現実的=人材 環境 〈4③〉) ↓

▽↓財源確保のためだけに実行はリスク ・人員確保(既存児対応でもたりない) ・環境設備 結課現場が疲へいして退職となると悪巡回



- ① 参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載されたとおりに文字おこしています。
- ② 付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

【良い点】

「3. 役割実現のための課題」

■全体

▽良い点 ・子ども、子育て関連の法律成立に基づいて将来を見すえた提案をしている。

▽課題 3 網羅的にカバーできている

■3(1) 市立保育園の適正な配置

▽良い点 市立保育園の配置イメージ図など、あり検委員が積極的に資料を作っていること

▽良い点 地域を意識した視点を持って、市立保育園の役割を考察している点

▽現行の 5 園体制 地理的に市内をカバーできる点が大切だと思った〈③(1)〉

▽ブロック内での連携、役割をしっかりと果たせる(地域に分けて考えている点)

▽各ブロックに市立保育園が配置されることが望まれる

■3(1)③ 地域の子育て支援体制の強化

▽児童館との連携 学童も定員オーバーしているので連携できると良いと思った〈③(1)〉

■(2) 保育士の人員不足

▽新たな役割を担う人員確保・拡充が必要。

「4. 市立園の在り方、課題への対応策」

■4(1)④ 公立保育園の公費負担⑤ 自治体経営の観点
▽保育料の適正化 財源になる点が良いと思った〈(1)④⑤〉

▽予算の確保 (子どもの利益を第一に検討)

■(2) まとめ

▽対応 保育士確保 (市としての対策に前向きなのがよい)

【改善点】

「3. 役割実現のための課題」

■3(2) 保育士の人員不足

▽〈③(2)〉 新たな役割の人員 具体的な職を書いた方が良いと思う

▽〈③(2)〉 人員不足 確保の為の具体的なイメージがわきにくい

■(3) 園舎の老朽化

▽課題 「園舎老朽化」の課題としてのとらえ方に違和感 →安全確保に懸念があるのであれば、「早急に対策」ではなくて今すぐ対応では？

「4. 市立園の在り方、課題への対応策」

■4(1) 5つの課題への対応策

▽年度途中の待機児童発生を対応することを視野に入れる

■4(2) まとめ

▽公民連携の仕組みづくりを進める(課題)

▽市立保育園の定員についての複数案(定員と実際入園が異なる)?? (段階的廃園が進んでいるにも関わらず募集人数は変わらない)

▽対応策 財源の話ができない中で、複数案提示は難しいのでは? →減らす場合 今果たしている／果たそうとしている役割が増えるしかない

▽対応策 もっと 5 園前提を強く出してもいいのでは？

「その他」

■はじめに(諮問)

▽改善点(不十分な点) そもそも骨子案のはじめに専決処分と判決の説明が不十分(1)

▽市長諮問にある東京地裁判決のとらえ方と、状況説明が極めて不適切と言わざるを得ない(2)

▽同じく、自治体経営の観点として、5 園維持が困難とある前提で、公立園の役割と在り方を問われても、市民としては困まる

▽自治体経営において財政問題が克服できず…とあるのは市民として、困惑のきわみ



- ① 参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載されたとおりに文字おこしています。
- ② 付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

「3. 役割実現のための課題」

- (1) 市立保育園の適正な配置 ②適正なブロックに分ける
- ▽各ブロックに市立保育園 駅周辺だけが小金井市ではない！市全体を考えて配置が必要〈③〉〈3(1)②〉
- ③地域の子育て支援体制の強化
- ▽現 5 園が行政機関として各ブロックに配置 市内全体をカバーする事が重要
- ▽地域子育て支援体制の強化 今後の小中高生の居場所としての役割〈③〉

「4. 市立園の在り方、課題への対応策」

- (1) 5つの課題への対応 ①園舎老朽化への対応
- ▽①園舎老朽化への対応 在り方検討委員会の提言を待つことなく、早急な予算化と対応をすべき
- ▽老朽化が数を減らす原因となるならば… いずれどの園も老朽化します。〈4(1)①〉
- (1) 5つの課題への対応策 ③
- ▽保育士採用の改善 小金井独自の保育をみりよく的なものにする〈4(1)③〉
- (1) 5つの課題への対応 ④公立保育園の公費負担
- ⑤自治体経営の観点
- ▽答申に示そうとしている市立園の役割の実現のため財政問題を引きあいに出さないような方向性を〈4(1)④⑤〉
- (1) 5つの課題への対応 ④公立保育園の公費負担
- ▽公民連携の仕組みづくり 子どものことを市立・私立関わらず皆で連携できれば良いと感じる。〈④〉

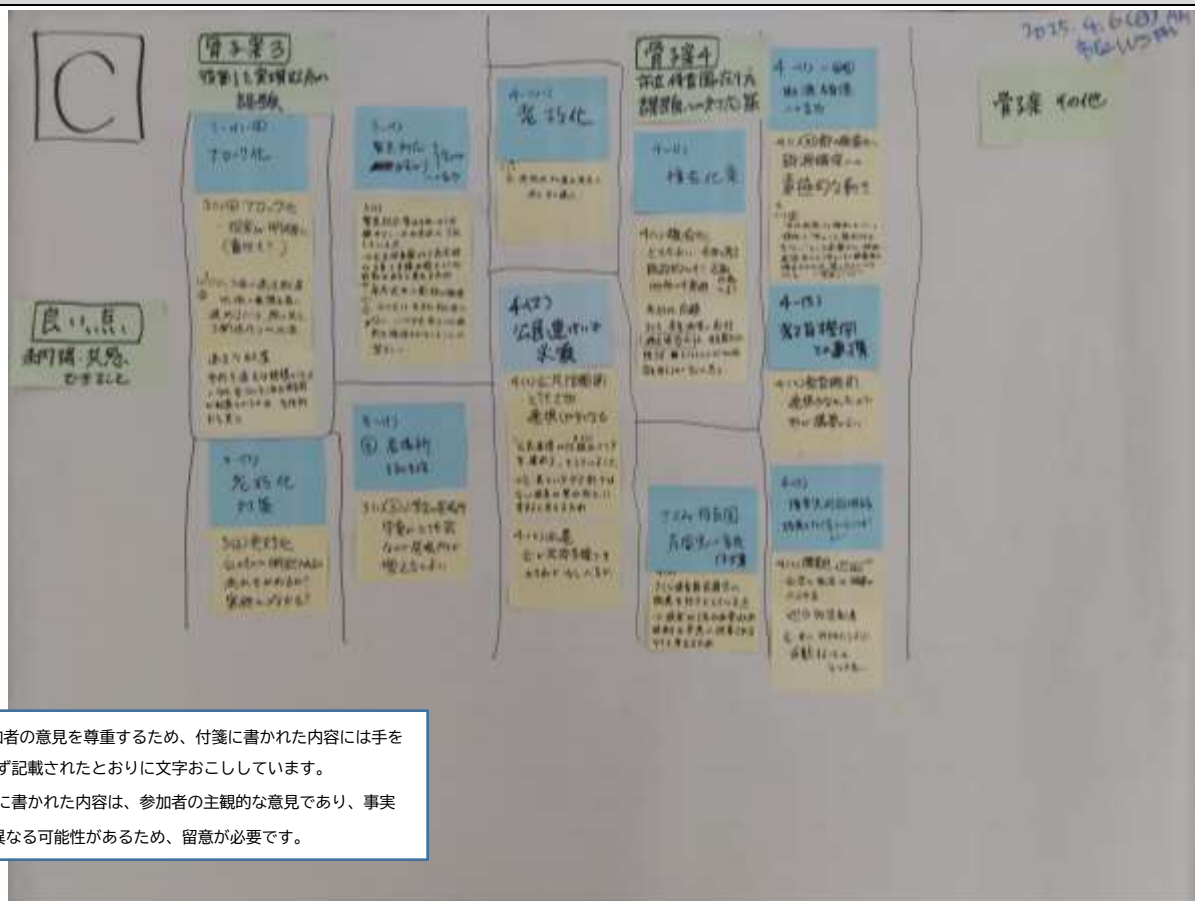
■4(2) まとめ

- ▽〈④〉5園前提でのブロック割り方についての議論 →インフラとしての役割を考えると、減らすのは疑問〈4(2)〉
- ▽民間保育園との連携 上下関係ではなく、助け合い高めあえる関係作りをしていく〈4(2)〉
- ▽公立保育の定員減で空いたスペースを活用して地域連携などの場として活用したら 複合化も視野に

「その他」

■2(3) 4つの役割 役割3

- ▽役割3の〈手を伸ばす〉ための伸ばす先に各家庭だけではなく、市内の市民活動を意識する



- ① 参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載されたとおりに文字おこししています。
- ② 付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

【良い点】

「3. 役割実現のための課題」

■3(1)②ブロック化

- ▽〈3(1)②〉役割が明確に（責任も？）
- ▽〈3(1)②〉ブロック毎の適正配置 地域の連携を真に進めるには、顔の見える関係作りが必要
- ▽適正な配置 市内を適正な規模のブロックに分け、各ブロックに市立保育園が配置されるのは、合理的だと思う

■3(1)緊急対応 あずかり 受け入れへの言及

- ▽〈3(1)〉緊急対応受け入れ→1 時預かりニーズの充足に言及している点 →公立保育園として市全体の子育て支援の柱としての役割があると考えてため
- ▽〈3(1)①〉年度途中入園枠の確保 子どもは生まれ月を選べない。いつでも受け入れ体制を確保されていることは望ましい

■3(1)③居場所 子育て支援

- ▽〈3(1)③〉小学生の居場所 学童がとても密なので居場所が増えるとよい

■3(3)老朽化対策

- ▽〈3(3)〉老朽化 公のものに明記されると流れもかわるか？実施につながる？

「4. 市立園の在り方、課題への対応策」

■4(1)複合化案

- ▽〈4(1)〉複合化 とてもよい 今後に残る 財政的にも？他市でも実施 長期計画で？
- ▽老朽化問題 子ども・若者施策に関する複合施設化は、保育園だけに限らずたくさんの人がその施設を使えるので良いと思う

■4(1)①老朽化

- ▽〈4(1)①〉老朽化対策を早急に。全くその通り

■4(1)④⑤ 財源確保への言及

- ▽〈4(1)⑤〉都の無償化～財源確保への積極的な動き
- ▽〈4(1)⑤〉「民間施設への補助を～」現在は“市として強制はできない”という姿勢だが、補助金活用により市としての基準が確立されれば全体としての質の向上につながる

■4(2)公民連けいは必須

- ▽〈4(2)〉公民信頼 ・とても大切 ・連携しやすくなる
- ▽〈4(2)〉「公民連携の仕組みづくりを進める」としていること。→公民というタテ割ではない保育の質の向上に資すると思われるため
- ▽〈4(3)〉派遣 公が民間支援できかねが少しへるか

■4(3)教育機関との連携

- ▽〈4(3)〉教育機関 連携少なかったので 市が構築がよい

■4(3)障害児巡回相談 格差をなくすということがいい

- ▽障害児巡回 公立と私立の格差がへらせる
- ▽巡回相談制度 公・民に行きわたるように拡充することはとてもよい

■さくら保育園 在園児への言及は大事

- ▽〈4(3)〉さくら保育園在園児に配慮を行うとしている点→現状の1名のみの受け入れ体制は早急に改善されるべきと考えるため

「その他」（意見なし）



- ① 参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載されたとおりに文字おこしています。
- ② 付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

【改善点】

「3. 役割実現のための課題」

■3(2) 人員不足 確保の案は？

▽〈3(2)〉保育士の人員不足 そもそも正規職員の退職者分を任期付で補うことを始め、更に、廃園問題で揺れている市に、わざわざ応募したがる人はいないだろう、という認識が、欠けている

▽〈3(2)〉保育士の人員不足について→具体的な解決策が見えない。数年前から任期付での採用が進められ、満期を迎えれば一気に減ってしまう

▽人員不足〈3(2)〉負担が多い、退職者が増える等の問題を分かっているがなぜ具体的な対策が出てこないのか 改善してほしい

▽〈4(1)②、3(2)〉人員不足 募集してもこない(P.7.1)どう確保？

■3(3) 老朽化 実施されていない！

▽〈3(3)〉老朽化 市の計画では長寿命化対策に入っているのに、実施されないできていることが問題

「4. 市立園の在り方、課題への対応方策」

■ブロック化 具体化スケジュール？

▽4(2) 市立保育園の配置・定員複数案 →5園→2園以外に現状どのような案が出ているのか知りたい(具体的に)

▽4(2)5園… ブロックが途中でかわる？

■4(1)②定員適正化

▽〈4(1)②〉保育定員の適正化 現状では“私立の経営を補償する為に公立の募集を行わない”スタンスで、これは考え方としておかしいと思う

▽〈4(1)③〉「こども誰でも通園」の補助金は、必要な人件費にも満たないことが、学者からも指摘さ

れている。

■4(3) 教育機関との連携

▽〈4(3)〉教育機関との連携 ・どんな、どこ？ ・大学レベル？ 小中学校と？

▽〈4(3)〉教育機関の連携い 公民の意思を聞くことは良いがそれを市だけで構築ではなく市と民間、市民での構築にしてほしい。信らん度

■4(3)DXの中身は？

▽〈4(3)〉“DXを積極的に活用して、民間との連携を進め”とはどういうことか？市立保育園の事務負担軽減は、わかるが

▽〈4(3)〉DX活用は国としても作っている時代の流れではあるが、カリキュラムの作成までDXにさせるようなことは好ましくない

■4(3) 障害児保育

▽〈4(3)〉障害児保育の実施について →民間園に拡充は必要なことであり、これまで格差があった原因はどのように解消されるのか知りたい

「その他」

■気持ち…

▽(全)わくわくしない、こわい 再度保育士としても… 4(3)や全体的にやってみたいと思えない

■ビジョンが見えづらい

▽1(1)④ビジョン ここを大きくうち出して欲しい

■小金井らしさ？

▽(全)小金井市らしさは…？ 他市でもあるような感じ 学大、自転車でまわれるコンパクト感 いかせないのか

▽(全)小金井市らしさは…？ 他市と同じなら他市が方針決めるとそこに流れていかないか？

▽(全)課題と解決だけ？ 3、4だけなのか、こんな未来にしたい、とかでなく問題点と対応のみで夢がないと感じた

▽公立保育園でなく行政の果たす役割が明示されていない



- ① 参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載されたとおりに文字おこしています。
- ② 付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

「3. 役割実現のための課題」

■3(1)②ブロック化

▽〈3(1)②〉ブロック化 5ブロック→3ブロックか 5園で3ブロック→3園(ブロックの変更なし) 将来を見すえたブロック割

▽〈全〉こまかい計画を!! 府中市の統廃合のようなこまかい計画をたててほしい

▽ブロック化に対して、3園、2園と数が減ることに對して、そのまわりの連けいできる施設、複合施設をどこにあれば良いか、それが本当に可能なのか具体的策がほしい

■3(1)適正の配置が何より重要!

▽何と言っても市立保育園の適正な配置・地域の子ども関連施設の連携(保幼小含む)は、ずっと以前から必要性が叫ばれていたが、小金井ではほとんど具体化されていない。地域のネットワークを作る場合、その中核・事務局的作用を担えるのは児童館・学校を含め公の機関でしかあり得ないのだから、この場合、市立保育園をどのように配置するかは肝であり、それは諮問3にもある訳なので、はずしてはいけない

■3(1)③支援体制

▽子ども一番と考えるなら、支援体制の強化、緊急対策に関しては、一番重要でもっと具体的に議論して頂きたいところ

■3(2) 保育士の人員確保 積極的に!

▽保育人員不足の重要性 何よりも人員確保できなければ、あずける人数も制限されてしまうので、どう確保していくのか重要!!

▽〈3(2)〉人員 ・面白さ(小金井の保育の) ・みりよく ・夢 入れてほしい

▽〈3(2)〉保育士人員不足の解消の具体策を示すこと(任期付を正規化する等) 廃園・定員減は消極的解決法と考えます

■3(3) 老朽化→安全性(急ぐ)

▽園舎の老朽化 やはり考えてしまうのは、地震が起こってしまった時のリスク。いつ、どこで発生するか分からないので。なんとか早く対策してほしい

▽〈3(3)〉園舎の老朽化への早期対応→複合施設化も検討し安全に通園できる環境を確保してほしい

「4. 市立園の在り方、課題への対応方策」

■4(2)連携 公民の信頼関係

▽行政・市立保育園・民間保育園の信頼関係構築 民間保育園代表委員が検討委員会を辞任したが、その根っこには行政への信頼感の欠如があると思われる。私立と公立が共に市の保育の質の向上を目指し、全ての子ども達の幸せを目指す為には、これまでの行政のスタンスに問題があったことを見つめ直さなければならないと思う。

▽〈4(2)〉行政・市立・民間の連携のあり方をどう構築するのか?それにより市全体の保育の質のあり方が決まる(民間園は利用者アンケートも未実施?)

▽これまでできなかった連携(行政・公・民)をどのように実現できるのか?それが見えない状況では不安

■4(2)保育定員の適正化

▽〈4(2)〉保育の質(目標) どんなことがやりたいのかを前面に押し出し そのために、この役割があるというようにしてほしい

■4(1)複合化 予算が見えない?

▽〈4(1)〉複合化について 財源 概算でも大まかな予算がわかると(施設数減によるものも含め)納得できるものになりそう

■4(3)さくら保育園園児のことをもっと

▽さくら保育園在園児の重要性(軽視されすぎ) 今現に縮小のためにぎせになってい子に対して考りよしてほしい。その1人の子に対して明るい未来を考えてほしい

▽裁判の判決に適した対応をしてほしい (廃園条例のてっ回)(さくら保育園在園児への対応)

「その他」

■ビジョン

▽〈全〉小金井らしさを コンパクトな市ならではの、学大がある、自然が多い、など、小金井の案とわかるよう特色差別化をしてほしい

▽〈全〉どんな保育園にしたいのか 課題解決も必要だが全市でこんな公立園(子ども第一とか 子どもがすこやかに 孤立させないなど)があるとよい

■市への要望

▽〈全〉信頼関係 行政のできること、考え方などもっと教えてもらい、こちらの要望とすり合わせてほしい

▽〈全〉やったあとの評価 だれがどう評価?

▽そもそも、この委員会が設置されたのは、段階的縮小→廃園について行政が一方的に決めるのではなく、市民の意見を聞くため、ということでした。それにもかかわらず、公立の園数についての議論がされないのはおかしい



- ① 参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載されたとおりに文字おこしています。
- ② 付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

【良い点】

「3. 役割実現のための課題」

- 将来・これらかのニーズや機能
- ▽〈3(1)①〉保育ニーズ充足後どうすべきか考えようとしているのは良い
- ▽〈3(1)②〉「適正な規模ブロック」と書かれているのがよいと思った
- ▽〈P6 3(1)〉市内を適正な規模のブロックに市立保育園を分け配置する(1/2) 地域の連携を考えるのであれば各ブロックにある方がよい(2/2)
- ▽〈P6の3(1)〉園舎の老朽化の課題 医ケア児避難所として活用を考えられている(複合形になる?)
- ▽園舎の老朽化〈③(3)〉 「子どもの安全確保」「地域の拠点」としても対応が必要と感じる
- ▽保育士の人員不足〈③(2)〉 「欠員解消とともに新たな役割を担う人員確保拡充が必要」に共感する

「4. 市立園の在り方、課題への対応方策」

- 子ども視点
- ▽〈4(1)⑤〉「子供の利益を第一に」と書かれており、安心した
- 市・民・地域含め全体的な視点
- ▽〈4(3)〉民間へも巡回相談するのが良い
- ▽〈4(1)④〉公立に対する公費負担のあり方を考えているのは良い
- ▽〈4(3)〉地域教育機関との連携が良い
- ▽〈4(1)②〉保育定員の適正化 児童数の減少も考え 公民ともに調整は必要

「その他」

- ▽はじめに、で、きちんと経緯について書かれておりよいと思った
- ▽〈1(3)②〉量の拡充から質の拡充を目指すというよかった

【改善点】

「3. 役割実現のための課題」

- 保育士の役割の拡大
- ▽〈3(2)〉2で示された「役割」を実現するために

は、保育士はもちろん、専門の人員が必要になる
▽↑それは必ずしも「保育士」ではなく、でも保育に対する高い知識とけいけんがある方がよい。OBの方とか?

- ▽〈3(2)〉地域子育て支援体制→保育士の業務範囲なのか…? (+αの資格が必要になる?)
- ▽民間の保育士のサポートが必要

「4. 市立園の在り方、課題への対応方策」

- “必要性”に対する分かりやすい説明
- ▽〈3(2)〉人材不足対応として統合という選択肢が検討されていない
- ▽〈P7(1)①〉施設数減による調整はなぜ必要? 保育園ではなく児童館なら良い?
- ▽〈④-5〉5園維持の困難→維持できるよう努力してきたのか…? (財政問題の克服)
- ▽公立をへらすと民間をどれだけ増やせるのかが説明されていない
- 財政問題
- ▽公立をへらして生まれる予算が子供のために使われるのかが説明されていない
- ▽〈4(1)④〉一園あたり税をいくら投入しているのか公開されていない
- ▽〈P7(1)⑤〉財政問題って何? 駅の北側の開発は必要なのに、保育や子供は開発しない?

■ たての連携

- ▽〈4(2)〉横の連携だけでなくたての連携についてくわえてほしい

■ 全体的な視点

- ▽〈4(2)〉行政との連携において「兼務」の検討がされていない。・子供家庭センター・市役所とも兼務
- ▽園を残すかどうかの議論と、公立であるべきかどうかの議論が分けられていない〈4(1)⑤〉
- ▽〈4(1)〉園庭の不足に関して、小金井中に公園を作るなど園の中以外の対応が検討されていない

「その他」

- ▽〈P1 1(1)①〉待機児童減少はじっかんとしてないです 入園の為の保活は必ず必要…



- ① 参加者の意見を尊重するため、付箋に書かれた内容には手を加えず記載されたとおりに文字おこししています。
- ② 付箋に書かれた内容は、参加者の主観的な意見であり、事実とは異なる可能性があるため、留意が必要です。

- 小金井市で子どもを育てたいと思えるように
“ビジョン” “お金がないから” でない
- 小金井市で保育士をしたいと思えるように

■ 今、通っている子どもたちへの対応

- ▽ 園舎老朽化〈4(1)1〉 複合施設案も良いが、公立園希望者のためにも早急に対応してほしい
- ▽ 〈4(3)〉 さくら保育園で1学年1人になっていること
- ▽ 〈4(1)〉 「5つの課題」は行政の都合であり、本来は大人が大人の中で解決しなければならない。それでも子どもの安心に、安全に、健やかに育つことのできる環境をなくす判断をせざるを得ないのであれば、「子供の利益を第一に」検討してほしい

■ 保育士の役割と体制 ・保育士でなくてもいい？ ・保育士の機能を分化？

- ▽ 保育士の確保〈4(1)③〉“巡回支援指導”をやりたい保育士はいるのか…？
- ▽ 〈3(2)〉 役割実現のためには、「保育士」の中でも可能かを確認しつつ、他の人材・役割の人をふやした新体制をつくる必要がある ・医ケア児対応のプロ ・ハブ役の人 ・OBの方など…？
- ▽ 教育や研究が好きな人たちを学芸大学に集め、その人達に巡回してもらおう方法の検討も大事(寄付講座)

■ 国・都・市の役割・取組の整理

- ▽ 民・市・国での役割の整理が必要 国と市が重複しているなら国にやってもらう等
- ▽ (ニーズ) 役割の整理の上で ゆりかごから墓場までのまとめ役が必要。携帯するにはつながりが大切なので

- 市・民間の連携 市のビジョンに沿ったあり方
- ▽ 〈4〉 そこに園がある事の必要性和、どれが公立である事の必要性を分けた検討が大事
- ▽ 行政の権限と役割について書いてほしい。☆民間との連携の現実化
- ▽ 民間への補助金への条件を明確にして、目的達成のための補助をするのが大事

■ 全体をフカン・調整する人・組織

- ▽ 〈3(1)②〉「適正な規模のブロック」については、地理上だけでなく、人数、横のつながり方、たてのつながり方など 多面的な見方をした上で、「適正」を示してほしい。
- ▽ 全ての子供が大事なので、民間の水準向上の政策が大事

■ 財政

- ▽ お金を子達に使うことを明言!!
- ▽ 保育についての人材 ・一般・特別保育 ・市民協力の人 以外にも市民によびかける必要があるのかと思いました
- ▽ 〈4〉 公立一園当たりの支出額と、それを別の方法で子供に用いた時にできる事の情報公開が大事
- ▽ 公費負担の根拠が明確であることが必要なので何にいくらかかるのかの検討が大事
- ▽ 財政問題について 5W1Hをもとにどのようにして予算を分けているのかを出して頂くとわかりやすいと思った
- ▽ 〈4(1)⑤〉 保育料の適正化 予算確保するためにどうすべきなのか

4 参加者アンケート結果

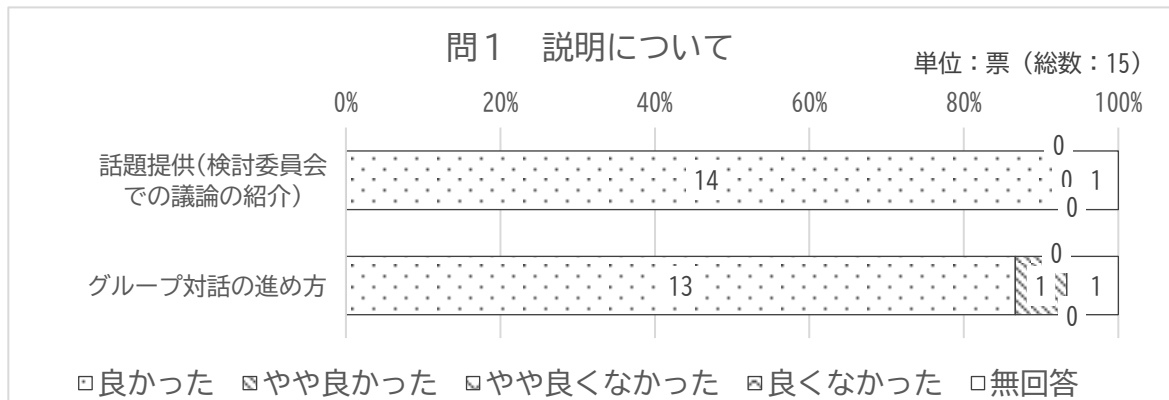
※参加者 16 人のうち、15 人の方からご回答いただきました。

問1 説明について

〈話題提供（検討委員会での議論の紹介）〉は、「良かった」が 14 票、「無回答」が 1 票です。

〈グループ対話の進め方〉は、「良かった」が 13 票、「やや良かった」が 1 票、「無回答」が 1 票です。

ともに参加者のほとんどが好意的な評価をしていると思われます。

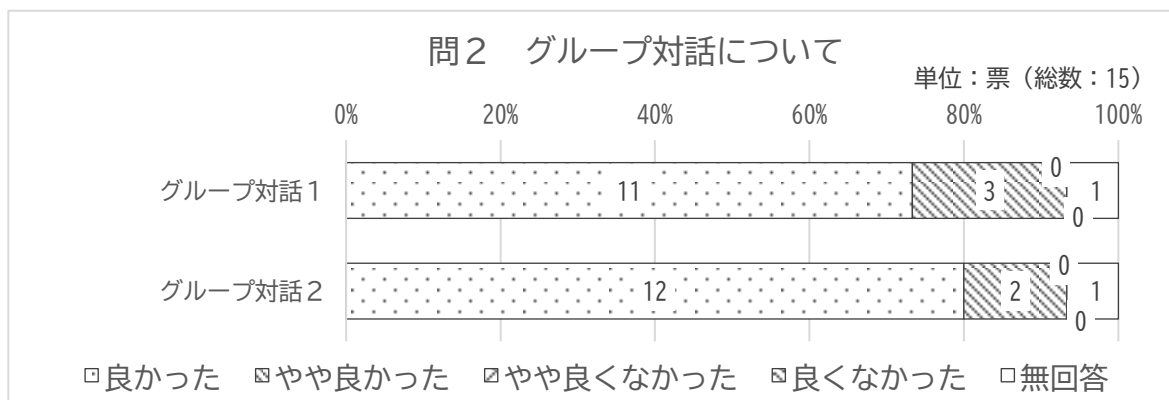


問2 グループ対話について

〈グループ対話1〉は、「良かった」が 11 票、「やや良かった」が 3 票、「無回答」が 1 票です。

〈グループ対話2〉は、「良かった」が 12 票、「やや良かった」が 2 票、「無回答」が 1 票です。

ともに参加者のほとんどが好意的な評価をしていると思われます。



問3 その他、ワークショップ全体をつうじて、お気づきのこと

※◆印ごとに1人の参加者の意見をまとめています。冒頭の「・」印がついている意見は、1人の方の2つ目の意見であることを示しています。

【良かった点】(回答者数 15 人)

- ◆前回参加した際の意見が反映され、市の検討委員がまとめているのが分かりよかった。
- ◆自分とはちがう立場の方とお話できてよかった。民間園に通っている保護者の方が公立園の役割の重要性を認識されていることには少しおどろいた。
- ◆色々な立場の皆さんのご意見を聞けて良かったです。
- ◆参加者同士でも自由な意見交換ができてよかった。
- ◆ワークショップ参加の方々(保護者)がしんしに考えていらっしゃって、好感がもてました。
- ◆2回目なので、参加者もリラックスしていて、前回よりは活発な意見交換ができたと思う。
- ◆前回(11月)より具体的に話が進められたような気がして良かったです。
- ◆皆様が「聴く姿勢」が伝わってきた。
 - ・市民が意見を述べ、それが反映される。
- ◆前回よりもグループ対話1と2がつながっていたように思った。
 - ・全体的によく話が出た。
- ◆色々な意見をきく事ができ良かったです。一方で、発表を聞くかぎりどのグループも感じている課題はおおむね同じであった事が、大事なポイントだったと思います。
- ◆あり方検討委員会がどうまとまるのか、ワークショップの意見がどうはんえいされるのか、が疑問です。どこのグループも“廃園すべき”という意見はなかったと思います。
- ◆参加された皆さんが小金井の保育に関して真剣に考えているということが改めて実感しました。ファシリテーターの方がこちらが意見しやすいように導いてくださり、助かりました。
- ◆時間通りの進行で良かったです。
- ◆ファシリテーターの方が意見を適切にまとめて下さいました。
- ◆書くことが進まなかった時に、声をかけてくださったことで、参加者の方からも良法を伝えてもらえた。

【改善すべき点】（回答者数 13 人）

- ◆国として出生率が下がる中、小金井市の子育て世帯がどうしたらふえるのか？の視点を持ってほしいと思います。
- ◆保育園にかかっている費用が開示されていない。
 - ・「廃園する」という選択肢がないように見える。
- ◆目的(市からのがあまり明示されていなかったのが)をもっと明確にできるとよかったか。
 - ・今後どの程度意見が通る 採用されるのか どう扱われるのか しりたかった。
- ◆出たご意見がしっかりいかされてほしいとただそれだけです。よろしくお願いいたします。
- ◆市民の意見をぜひ答申に入れていただきたい。今回 5 園維持しなければ市の保育の質を担保できないという意見が複数のグループから出された。これを答申にいれていただかなければ、今日子どもを留守番させて参加した意味はありません!!!
- ◆委員長の説明のパワーポイントが配布資料と違っていたので、わかりにくかった。
- ◆提言(案)の整理がわかりにくかった
- ◆前回より参加者が少なく残念でした。周知の方法等検討してほしい。
- ◆人数がもう少し多い(+ 1 人位、計 5 人程)と良かったかなと感じます。
- ◆メール送付の資料について全て紙としていただけると助かると思いました。
- ◆メールで送られてきた資料はプリントで配布があると良いと思った。
- ◆市関係者の方の雑談がかなり気になった。
- ◆とくにないです。

参考資料：アンケート調査票

参考として、当日参加者に配付したアンケート調査票は、以下のとおりです。

小金井市立保育園の在り方検討 第2回市民ワークショップ 参加者アンケート

本日は、ワークショップにご参加いただき、ありがとうございました。

ご参加いただきました第2回市民ワークショップについてアンケートのご協力をお願いいたします。

※ご記入いただきました内容につきましては、本アンケートの目的以外には使用いたしません。

問1 説明について：以下の項目について、それぞれ該当するところに○をつけてください。

	良かった	やや良かった	やや良くなかった	良くなかった
話題提供（検討委員会での議論の紹介）				
グループ対話の進め方				

問2 グループ対話について：以下の項目について、それぞれ該当するところに○をつけてください。

	良かった	やや良かった	やや良くなかった	良くなかった
グループ対話1				
グループ対話2				

問3 その他、ワークショップ全体をつうじて、お気づきのことなどありましたら、ご記入ください。

良かった点（ご自由にお書きください）：

改善すべき点（ご自由にお書きください）：

ご協力ありがとうございました。